

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

JR北海道重大事故おそれ2件隠蔽

保線作業員と列車が接触のおそれ



2025年2月3日 HTB北海道ニュース

JR北海道で昨年、重大事故の恐れがある
事例が2件発生していました。それにも関わ
らず、どちらも隠されていたことが明らか
になりました。

列車接近中に保線作業

昨年11月9日、札幌方面に向かっていた貨
物列車が砂川駅のホームを通過する際、運
転士が約400メートル先の線路上に保線作業員3人
を発見しました。運転士が警笛を鳴らしたこ
とで列車の接近に気がつき、3人は待避でき
ました。

しかし、非常ブレーキをかけた列車が停止
したのは、3人
がいた場所を
100メートル過
ぎて停止した場
所でした。
さらに昨年8
月には、函館線
の岩見沢駅と峰
延駅の間での保
線工事で、線路
閉鎖が解除され
た状態で作業が
行われていまし
た。

どちらも走行中の列車と保線作業員が衝突
し、事故につながってもおかしくない重大
な事態です。

続く安全崩壊と隠ぺい

深刻な安全の崩壊が繰り返されています。
しかも、輪軸組み立における不正が全国的に
問題になっていく中にも関わらず、会社によ
って重大事態が隠されるということまで行
われていたのです。

JR各社は金儲けと株主利益を何より優先
し、公共交通機関を民営化した矛盾を労働者
に押し付けてきました。その中で、北海道で
は若年退職が19年からすでに1千人を超えて
います。四国では運転士不足でダイヤを維持
できず、「乗務員不足」を理由に列車削減を
繰り返しています。

深刻な安全問題が続いているのは、JR東
日本も同じです。また、若年退職も急増して
います。

それは職名廃止や業務融合化・統括セン
ター化、ジョブローテーションなど、鉄道を
徹底的に軽視し、安全を切り捨てる施策の結
果です。「いつ強制配転されるのか」「次は何
をやらされるのか」という職場にしているの
は誰なのかという話です。改めて、職場から
の声と闘う労働組合が必要です。